

子どもたちにおもちゃ 母親に紙オムツを贈呈

日本原水協と協力して活動するリトアニア側のコーディネーター、ゲディミナス・リムデイカさん（トラカイ・ロータリークラブ元会長）から4月19日に届いた報告です。

トラカイ・ロータリー・クラブとリトアニアに来たウクライナ人難民に代わって、みなさんが関心を寄せ、あたたかいお心遣いをくださっていることに、心から感謝を申し上げます。原水協からいただいた募金は、当クラブからの資金と合わせて、彼らが抱える大きな問題がある程度軽減するのに役立てられています。

ここにたどり着いた難民の多くは、さまざまな年齢の女性や子どもたちです。毎日数百人のウクライナ人がリトアニアに到着し、すでに4万5千人近くになっており、そのうち約1万9千人が子どもやティーンエイジャーです。中には親がいないまま連れてこられ、孤児院で暮らしていた子もいます。小さな子どもを連れた母親たちは、数分のうちにリュックサックに荷物をまとめて家を後にせざるを得ず、必要な衣類や衛生用品すら持ちだせませんでした。



ここには学齢期の子どもたちが通える学校がなく、母国語であるウクライナ語での遠隔教育が必要です。そのためには、大量のパソコンとタブレット端末が必要でした。生徒のニーズを明確にして、適切なパソコンを探す必要がありました。この分野の専門家がいないため、ダナス・リムデイカに大いに助けられ、クラブは彼にとっても感謝しています。

彼の尽力もあり、難民の中に4歳の半身不随の女の子を持つ母親がいることがわかりました。医師団の診察の結果、リハビリテーション治療を勧められましたが、リトアニアの法律では他国の市民が無料で治療を受けることはできません。クラブの決定により、私たちは半月分の治療費を負担し、良い結果が出ることを期待しています。

戦争が始まった当初、彼らがウクライナを離れたのは冬だったので、皆さんからの資金で、すでに子どもたちに教育用のパソコンやタブレット、夏服や靴などを購入して渡すことができました。



避難してきたウクライナ人母子に
「ひまわり募金」で紙おむつを贈呈



ベイゾニス（首都ビリニユスの郊外にある町）の孤児院には、10人の子ども水球チームのメンバーと母親たちが居住しています。調理用に食器や鍋、フライパンを買う必要がありました。象徴的だったのは、この子どもたちがリヴィウから来たことです。私たちのロータリー・クラブは4年前にリヴィウ・ロータリー・クラブと共同プログラムをおこない、

私たちが費用を負担してリヴィウ視覚障がい者の合唱団を招いたことがあります。ですから突然、リヴィウの人たちとの交流が復活したのでした。

レントヴァリスの孤児院には9人の母親が落ち着きました。激しい攻撃を受けた地域であるミコライウから、幼い子どもを連れた9家族です。トラカイにやってきたこれらの家族の43人の子どもたちは、服を洗濯する機械もなかったので、私たちは洗濯機を買いました。小さな子どもたちのためにおもちゃを買い、紙おむつも用意しなければなりません。自国で仕事を持ち、よい生活環境で暮らしていた家族は突然なにもかも奪われました。男たちは引き離されて、国家の存続のため——ウクライナのためだけでなく、ヨーロッパと全世界の安全のために戦わねばならないという状況を目の当たりにして理解するのは非常に辛いことです。今日、ウクライナには全世界から助けの手が差し伸べられています。



リトアニアは小さな国ですが、その行動を通じてウクライナを最も積極的に支援している国の一つです。リトアニアの専門家やボランティアはウクライナ人とともに戦っています。ここリトアニアでは、5つの公的な団体がウクライナ支援のためにすでに550万ユーロ以上の寄付金を集めています。

残念ながら、最近ではリトアニアもウクライナ占領者から深刻な被害を受けています。世界的に有名なリトアニア人のドキュメンタリー映画監督のクヴェダラヴィチウス氏が殺されました。彼は逮捕、拷問されたのち残虐に殺害され、遺体は数日後に路上で発見されたのです。リトアニアはこの占領者の大量虐殺をよく知っています。リトアニアの上層部をシベリアに追放したとき、30万人以上の女性、子ども、男性が送られましたが、残念ながらその多くは帰国できませんでした。この占領者の強欲は、クリミア内のタタール人の強制追放、モロトフ・リッベントロップ条約によるバルト三国の占領、千島列島の占領、クリミアの占領、ルハンシクとドネツィク、そしてシリアとアレッポの占領など、昔から知られています。

今日、ロシアの命令によっておこなわれた大量虐殺は、居住地を破壊し、民間人を殺害し、女性や子どもをレイプし、500人以上の子どもを負傷させ、200人以上の子どもを殺害しました。291の病院が爆撃を受けて18が完全に破壊され、105の飛行機がハイジャックされ、73の救急車が破壊されました。いくつかの都市で学校、幼稚園、住宅地全体が壊滅させられ、ブチャ、ポロディアンカ、イルピンでは民間人が殺害され、クラマトスク駅では難民への爆撃がおこなわれました。これらすべてがジェノサイドです。この占

領国を率いる人物は、自らを大統領と呼ぶことはできません。なぜならそれは世界での名誉ある地位を貶めるものであり、彼は世界の大統領たちとは比較にならず、人間と呼ぶこともできないからです。やがて世界は団結してこの怪物に立ち向かい、私たち一人ひとりには小さな一滴とはいえ、一致してこれを止めなければならないのです。



私たちは、日本の少女サダコの例にならって、自分たちの手で1000羽の折り鶴を折り、私たちの願いが現実となるように祈ります。世界に再び平和が訪れ、頭上に白い鳩が舞い、ヒロシマとナガサキが繰り返されることが決してないようにと。

親愛な日本の友人のみなさん、志を同じくするみなさん、核兵器廃絶のために何十年にもわたってたたかってこられたみなさんの活動は大きな成果をもたらし、世界の核兵器の数は激減しました。しかし狂人の手に渡れば、たった1発の爆弾でさえ取り返しのつかない損害を与える可能性があります。このことは、私たち全員が立ち上がり、自らが選んだ政府に対して、全世界から核兵器を廃絶する大道を歩むよう、さらに強く要求していかなければならないことを意味しています。

現在、200万円を超える募金が集まっており、追加で前回と同額の募金を送ることをリトアニア側に伝えたところ第一次支援物資のリストが届きました。

内容	数量
4歳の身体麻痺の女の子のリハビリ治療費	14日分
赤ちゃん用紙おむつ	15包み
親のないこどもの衛生用品・食品購入用クーポン	50人分(各20ユーロ)
子どもたちと避難した家族用洗濯機	1台
学齢期の子どものオンライン授業用タブレット端末	15台
学齢期の子どものオンライン授業用ノートパソコン	2台
おもちゃ、学用品、子ども用家具(クライペダに避難中の家族用)	多種多様
おもちゃ、学用品、子ども用家具(ラドヴィリスキスに避難中の家族用)	同上
おもちゃ、学用品、子ども用家具(ベイゾニスに避難中の家族用)	同上
合計*	
*追加でトラカイ・ロータリークラブのメンバーが募金を寄せ、その他にウクライナ人家族に食器、調理器具などを贈呈。	

ダナスさんからは、「ロータリーのメンバーは、日本のみなさんと原水協が再度募金を送って下さった場合、どのように有益に資金を使うべきかについて議論しました。現在リトアニアに在住しているウクライナの人々が日々使う物資のニーズは確かにありますので、募金をいただければ必ず支援に役立てることが出来ます。ウクライナ人家族に代わって、感謝を申し上げます」と連絡がありました。引き続き、ご協力をお願いします。

各地の行動をお寄せください。